



2022年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年6月30日

上場会社名 日創プロニティ株式会社 上場取引所 東 福
 コード番号 3440 URL <https://www.kakou-nisso.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-555-2825
 四半期報告書提出予定日 2022年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期第3四半期の連結業績（2021年9月1日～2022年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第3四半期	5,180	△10.2	306	△18.2	335	△23.1	195	△28.6
2021年8月期第3四半期	5,769	△11.6	374	△44.7	436	△36.3	274	△45.3

(注) 包括利益 2022年8月期第3四半期 193百万円 (△31.3%) 2021年8月期第3四半期 281百万円 (△43.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第3四半期	30.41	29.94
2021年8月期第3四半期	42.69	41.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年8月期第3四半期	15,112	9,768	64.2
2021年8月期	12,220	9,735	78.9

(参考) 自己資本 2022年8月期第3四半期 9,695百万円 2021年8月期 9,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2022年8月期	—	0.00	—		
2022年8月期（予想）				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年8月期の連結業績予想（2021年9月1日～2022年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,220	△4.2	256	△43.6	258	△51.2	137	△67.9	21.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年8月期3Q	7,360,000株	2021年8月期	7,360,000株
② 期末自己株式数	2022年8月期3Q	915,850株	2021年8月期	935,350株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年8月期3Q	6,437,221株	2021年8月期3Q	6,424,650株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が徐々に弱まり、景気持直しの兆しが見えつつありましたが、ロシアのウクライナ侵攻による米欧とロシア間の対立、中国上海の都市封鎖、原油及び原材料価格の高騰、さらには急激な円安やインフレ懸念の高まりなどから、依然として先行きが不透明な状況にありました。

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に起因する直接的な影響は軽微でしたが、国内外経済の下振れリスクが生じる可能性があることについては、引き続き留意しておく必要があると考えております。

このような状況の中、当社グループは、新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組みましたが、主に金属加工事業において、太陽電池アレイ支持架台の大型案件の減少や、耐火パネルの販売が伸長しなかったこと等により、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,180百万円（前年同四半期比10.2%減）、営業利益は306百万円（同18.2%減）、経常利益は335百万円（同23.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は195百万円（同28.6%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(金属加工事業)

太陽電池アレイ支持架台の大型案件の減少や、耐火パネルの販売が伸長しなかったこと等により、売上高は3,367百万円（前年同四半期比18.2%減）、セグメント利益は275百万円（同30.3%減）となりました。なお、受注高は3,362百万円（同11.5%増）、受注残高は1,370百万円（同4.5%減）となりました。

(ゴム加工事業)

既存取引先との関係強化に積極的に取り組んだことで、建設関連、建機関連、土木関連、電力関連、自動車関連等の各種業界向けの製品が堅調に推移し、売上高は855百万円（前年同四半期比2.9%増）、セグメント利益は199百万円（同23.9%増）となりました。なお、受注高は859百万円（同1.1%増）、受注残高は106百万円（同8.5%増）となりました。

(建設事業)

グループ間の情報連携を図り、太陽電池アレイ支持架台の大型案件は減少したものの、電気工事や内装工事を中心に営業活動に取り組んだことや、M&Aによりグループ化した株式会社壹会の業績寄与により、売上高は957百万円（前年同四半期比16.7%増）、セグメント利益は70百万円（同61.4%増）となりました。なお、受注高は1,679百万円（同54.8%増）、受注残高は1,900百万円（同170.5%増）となりました。

(注) セグメント利益の合計額と営業利益との差異△239百万円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は10,685百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,028百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加（2社）により、現金及び預金が768百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が895百万円、仕掛品が120百万円、原材料及び貯蔵品が123百万円それぞれ増加したことによるものであります。また、固定資産は4,426百万円となり、前連結会計年度末に比べ862百万円増加いたしました。これは主に、福島工場の設備投資により有形固定資産が552百万円、連結子会社の増加（2社）によりのれんが236百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は15,112百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,891百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,800百万円となり、前連結会計年度末に比べ870百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加（2社）により、支払手形及び買掛金が113百万円、工事未払金が211百万円、短期借入金が399百万円、1年内返済予定の長期借入金が395百万円それぞれ増加し、流動負債のその他が318百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は2,543百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,988百万円増加いたしました。これは主に、福島工場の設備投資と連結子会社の増加（2社）により、社債が170百万円、長期借入金が1,609百万円、固定負債のその他が154百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,343百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,858百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は9,768百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は64.2%（前連結会計年度末は78.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年3月30日の「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,308,219	7,076,396
受取手形及び売掛金	1,045,790	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,078,978
電子記録債権	360,368	406,735
完成工事未収入金	137,870	—
商品及び製品	149,301	137,355
仕掛品	148,575	268,646
未成工事支出金	1,254	10,800
原材料及び貯蔵品	401,388	525,264
その他	109,942	188,069
貸倒引当金	△6,033	△7,073
流動資産合計	8,656,677	10,685,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,097,147	1,839,621
機械装置及び運搬具(純額)	557,695	762,753
土地	954,142	957,355
リース資産(純額)	16,917	45,402
建設仮勘定	679,360	247,500
その他(純額)	43,303	48,821
有形固定資産合計	3,348,566	3,901,453
無形固定資産		
のれん	11,258	247,679
その他	75,600	74,904
無形固定資産合計	86,859	322,583
投資その他の資産		
投資有価証券	43,606	42,751
その他	98,976	164,058
貸倒引当金	△14,014	△3,990
投資その他の資産合計	128,569	202,820
固定資産合計	3,563,995	4,426,857
資産合計	12,220,672	15,112,033

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	173,467	286,894
工事未払金	81,048	292,996
短期借入金	580,000	979,063
1年内償還予定の社債	—	60,000
1年内返済予定の長期借入金	209,628	605,004
未払法人税等	128,789	83,028
賞与引当金	15,951	70,250
その他	741,181	422,926
流動負債合計	1,930,066	2,800,163
固定負債		
社債	—	170,000
長期借入金	338,865	1,948,649
退職給付に係る負債	101,815	153,560
資産除去債務	99,008	101,349
その他	15,798	170,235
固定負債合計	555,486	2,543,794
負債合計	2,485,552	5,343,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,968	1,176,968
資本剰余金	1,096,968	1,096,968
利益剰余金	8,122,139	8,155,841
自己株式	△747,361	△731,780
株主資本合計	9,648,714	9,697,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△594	△2,784
その他の包括利益累計額合計	△594	△2,784
新株予約権	87,000	72,862
純資産合計	9,735,120	9,768,074
負債純資産合計	12,220,672	15,112,033

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)
売上高	5,769,744	5,180,159
売上原価	4,488,469	3,909,694
売上総利益	1,281,275	1,270,464
販売費及び一般管理費	906,874	964,079
営業利益	374,400	306,384
営業外収益		
受取利息	61	74
受取配当金	1,659	1,997
匿名組合投資利益	—	18,937
受取家賃	4,141	3,728
補助金収入	53,563	9,135
その他	9,128	3,827
営業外収益合計	68,555	37,701
営業外費用		
支払利息	4,037	7,654
匿名組合投資損失	882	—
その他	1,466	750
営業外費用合計	6,386	8,405
経常利益	436,569	335,680
特別利益		
固定資産売却益	4,837	9
特別利益合計	4,837	9
特別損失		
固定資産売却損	1,664	10
固定資産除却損	369	7,381
投資有価証券評価損	4,298	—
減損損失	10,875	—
特別損失合計	17,207	7,392
税金等調整前四半期純利益	424,199	328,297
法人税、住民税及び事業税	143,433	148,974
法人税等調整額	6,489	△16,418
法人税等合計	149,922	132,555
四半期純利益	274,276	195,741
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	274,276	195,741

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)
四半期純利益	274,276	195,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,419	△2,190
その他の包括利益合計	7,419	△2,190
四半期包括利益	281,695	193,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	281,695	193,551
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当社の連結子会社である日創エンジニアリング株式会社は、株式会社壹会を傘下に有するいちえホールディングス株式会社を子会社化したことに伴い、同社及びその子会社の株式会社壹会を第2四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。また、収益認識会計基準等の適用による、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」及び「完成工事未収入金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年9月1日 至2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,118,325	831,089	820,328	5,769,744	—	5,769,744
セグメント間の内部売上高 又は振替高	71,462	2,085	495	74,043	△74,043	—
計	4,189,788	833,175	820,823	5,843,787	△74,043	5,769,744
セグメント利益	395,678	161,335	43,456	600,470	△226,069	374,400

(注) 1. セグメント利益の調整額△226,069千円は、セグメント間取引消去15,732千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△241,802千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年9月1日 至2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,367,225	855,321	957,612	5,180,159	—	5,180,159
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,367,225	855,321	957,612	5,180,159	—	5,180,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,344	1,351	—	19,696	△19,696	—
計	3,385,569	856,673	957,612	5,199,855	△19,696	5,180,159
セグメント利益	275,642	199,933	70,135	545,712	△239,327	306,384

(注) 1. セグメント利益の調整額△239,327千円は、セグメント間取引消去18,301千円、子会社株式の取得関連費用△28,161千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△229,467千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	
	金額 (千円)	前年同四半期比 (%)
金属加工事業	2,435,335	78.6
ゴム加工事業	404,070	95.1
合計	2,839,405	80.6

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値であります。
2. 建設事業については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績を記載しておりません。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
金属加工事業	3,362,986	111.5	1,370,214	95.5
ゴム加工事業	859,550	101.1	106,135	108.5
建設事業	1,679,110	154.8	1,900,330	270.5
合計	5,901,647	119.2	3,376,681	151.0

- (注) セグメント間の取引については相殺消去しております。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	
	金額 (千円)	前年同四半期比 (%)
金属加工事業	3,367,225	81.8
ゴム加工事業	855,321	102.9
建設事業	957,612	116.7
合計	5,180,159	89.8

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
戸田建設株式会社	1,038,240	18.0	—	—

当第3四半期連結累計期間の戸田建設株式会社については、当該割合が100分の10未満のため、記載を省略しております。